

鍛冶屋入門 ～鉄を知る～

鍛冶屋体験 1月7日(土)、14日(土)



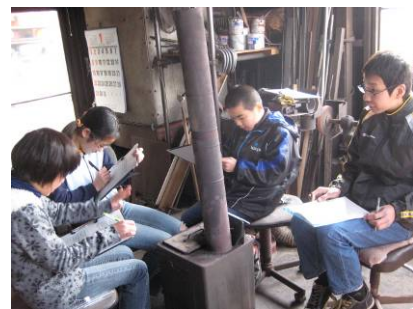
1月7日と14日の2日間、5名の子も達が、豊田市平芝町の鍛冶職人・二村善市さんの工房で鍛冶屋体験を行いました(12月27日に予定していた新日鉄名古屋工場の見学は雪のため中止となりました)。今回、製作に挑戦したのは鉄風鈴。初日のこの日は、本体となる長い3本の鉄の棒を作るため、1000度を超す火炉(ほど)で鉄を熱して叩く、熱して叩くという作業をひたすら行いました。思いのほか重いハンマーに子ども達は悪戦苦闘。水平に打ち下ろしたいのですがなかなかうまくいかず、出来あがった形は多少いびつになってしまいました。それでも、一生懸命叩いたからきっといい音が出るよと二村さん。次の日はみんな筋肉痛だったかな？



2日目は、初日に伸ばした鉄の棒を、U字に曲げる作業。再び火炉で熱し、二村さんが作ってくださった治具を使って真中から曲げるのですが、これがなかなか難しい。何度もやり直して、ようやく風鈴の本体が完成しました。



その後、本体を針金で吊るし、鉄の玉にしおりをつけて3つの本体の真ん中にセット。風を送ると、玉が本体にあたってチリリンととってもいい音がしました。



昔はこの町にも鍛冶屋があって、トンカントンカンと鉄を打つ音が響いていたそうです。でも、今ではこの豊田市でも貴重な存在となった鍛冶屋。「鉄は生き物だから。愛情込めて、いいものを作っていきたいね」。職人さんの大変さとともに、ものづくりへの深い愛情を感じることができました。